

PRO2
LIVE AUDIO SYSTEM



PRO2
LIVE AUDIO SYSTEM **FC**

 **MIDAS**



matrix 1 matrix 2 matrix 3

FLIP

to faders with
output select

FX

access with
output select

advanced channel navigation

storage



PRO2・PRO2C イントロダクション

オーディオ・ミキシング・システムについて、前例のないコントロールのワークフローが容易になったシステムを想像して下さい。

オペレータに対して最も直観的なユーザ・インターフェイスと考えるオーディオ・ミキシング・システムを考えたとき、恐らくそれは普通のコンソールより、多額な費用とスペースを必要とします。これら全てを持つオーディオ・ミキシング・システムを想像してください。そして、音は Midas のようなサウンド！ Midas PRO2 の革命的な考え、至ってシンプルです！

Midas PRO2/PRO2C は、これまでで最もコンパクトで手頃な Midas デジタル・コンソールに仕上がりました。これらの飛躍的に進化を遂げたテクノロジーは、Midas オーディオ・ミキサーのコンセプトとして能力を発揮します。

オペレータの経験と能力そして新しい発想を取り入れたことにより、PRO2 はいくつかの異なる方法で操作することが出来ます。PRO2 の「ノーマル」モードでは、多くの他のデジタル・コンソールと同様に操作することが出来ます。

Midas デジタルに不慣れであるエンジニアでも、悩むことなく簡単に PRO2 を楽しみ、同時にオーディオ・クオリティと分かり易く区分された素晴らしいコンソールとして操作する事が出来るでしょう。PRO2 シリーズの中でも PRO2C は、最少サイズで仕上がっています。PRO2C は PRO2 と基本的に同じミキサーです。唯一の違いはユーザ・インターフェイスの物理的サイズのみです。PRO2C は、同じ機能を持った他のコンソールより非常にコンパクトで、その大きさは、多くの 24 チャンネルのアナログコンソールよりコンパクトです。

MIDAS DL251 audio system I/O

Control panel with various indicators and buttons:

- gain: -10dB, 0dB, +10dB, +20dB, +30dB
- ID select: 1, 2, 3, 4
- control mode: mode 1, mode 2
- clock: on, off
- sample rate: 48kHz, 96kHz
- Ethernet control: on, off
- AES67 control: on, off



ミキサー

56 チャンネルの入力チャンネルに加え、PRO2 には、4- バンド・PEQ とインサート機能を持つ 8-AUX リターンがあります。PRO2 の内部 FX プロセッサのリターンやもし十分なマイク入力ネットワーク上の I/O ハードウェアにあるならば、8-Aux リターンを有効に使う事が出来ます。トータル 64 チャンネルの入力は、27 ミックス・バスにルーティングができ、これらのバスは、8 マトリックス・バスと 16 チャンネルのユーザー設定可能な AUX バス (サブ・グループ、ミックス、ミックス・マイナス) から構成されます。入力やグループからの マトリックス・バスへのソースは、追加の AUX (モニター・ミックスや FX の送り) として使用することが出来ます。すべてのバスは、ステレオ・ペア (MONO バス以外) としてリンクする事ができます。すべてのオーディオは複数の送り先にパッチする事ができ、それらの設定は、シーン毎に設定することが出来ます。

ハードウェア

コンソールは Midas 従来の強力なスチール製フレームで構成されています。そして、それは他の Midas と同様のエンジニアリングの本質を採用しています。フレームは 2 つの取り外し可能な電源を持っており、その内の一つだけはフル稼働のために必要とされます。電源は、自動 - 電圧感知による自動 - 切り替えで、AC コネクタにはロック式を採用しています。またユニットはホット・スワップが可能です。

各々の PRO2 スタンダードシステムには DL251 リモート・ステージボックスが付属しています。ユニットには 48ch Midas マイク / ライン入力、16ch アナログ XLR 出力と二重化電源を備えています。DL251 は、コンソールから 100 メートルのケーブル長の距離までに配置することが出来ます。また DL431 Mic Splitter を含むオプションの I/O から、アプリケーションに合った I/O ハードウェアを選ぶことができます。

オーバービュー

- 56-Midas マイクプリアンプ・マイク / ライン入力
- 64- 同時入力プロセッシング・チャンネル
- 32- アナログ出力 (2 ステレオ・ローカルモニターを含む)
- 3-AES3 出力
- 2-AES3 入力
- 27- サンプル同期、同位相、ミックス・バス
- 6- マルチチャンネル FX エンジン
- 28 チャンネル DN370 31 バンド -GEQ (最大)
- 15 インチ・フルカラーディスプレイ (日光下でも可視)
- 8-VCA(Variable Control Association) グループ
- 6-POPulation グループ
- 192-MCA(Mix Control Association) グループ
- 96kHz 40-bit フローティング・ポイント・プロセッシング
- 48in 16out 100m デュアル Cat-5e AES50 デジタルスネーク

接続

サーフェス・リアの固定フォーマット、オーディオ I/O は、以下の接続を可能にします :

- 8-Midas マイクプリアンプ・マイク / ライン入力 (XLR)
- 8- アナログ出力 (XLR)
- 2-AES3 入力 (XLR)
- 3-AES3 出力 (XLR)
- 6-AES50 ポート (RJ45)
- ローカルモニター A L&R とローカルモニター B L&R(XLR)
- L/R/Mono マスター出力 (XLR)
- トーク出力 (XLR)
- トークマイク入力 (XLR)

リアパネルにあるオーディオ以外のコネクタ :

- MIDI in/out/through
- AES3 クロック入出力 (XLRM & XLRF)
- ワードクロック入出力 (2-BNC)
- ビデオ (ブラック・バースト) シンク入力 (BNC)
- コンソール・スクリーン の DVI ビデオ出力 (DVI)
- Ethernet コントロールポート (EtherconRJ45)
- USB ポート (USB A)

IO オプション

- DL252 16in 48out 固定フォーマット IO
- DL351 最大 64 入出力構成可能 IO(8 card slots)
- DL451 最大 24 入出力構成可能 IO(3 card slots)
- DL431 24in 5-way スプリット固定フォーマット IO

Klark Teknik アクセサリ

Klark Teknik DN9331Rapid

リモート GEQ フェーダ・コントローラ

Klark Teknik DN9696

96ch 高解像度オーディオ・レコーダ

Klark Teknik DN9650

デジタルオーディオフォーマット・コンバータ

PRO2

LIVE AUDIO SYSTEM

PRO2は、16本の入力フェーダを持っていますが、デフォルトでVCAとして機能する8本のフェーダをEXTENDボタンを用いて、簡単に入力フェーダを24本に増やすことができます。オペレータが「レイヤー」に慣れているならば簡単にプログラム操作ができるPOPulationグループを活用することで、24本の入力フェーダで3つのレイヤー間だけで、PRO2の64の入力チャンネル全てへ簡単にアクセスすることが出来ます。

リモートコントロール・アプリケーション



PRO2

LIVE AUDIO SYSTEM

PRO2Cには、PRO2と同様の設定を行う事が出来ます。8つの入カフェーダはEXTENDボタンを用いると16入カフェーダに増やすことが出来ます。

直射日光下でも視認可能な
ディスプレイ・スクリーン

アサインブル・コントロール

フェーダ・Extendボタン

スクリーン・アクセス・ボタン

100mm モーターフェーダ

8- マイク / ライン入力

8- ライン出力

8- マスター / ローカル出力

2-AES3 入力 / 3-AES3 出力

MIDI

マルチ・クロック・オプション

6-AES50ポート





ディテール・ストリップ

入力ゲイン

ダイナミック・プロセッシング

イコライザ

グローバル・タップ / テンポ・ボタン

アドバンスド・ナビゲーション

6-POP グループ

8-VCA

エリア -B



デュアル・リダンダント・パワーサプライ

USB

イーサネット・コントロール

DVI ビデオ出力



ナビゲーション・チャンネル

「ページング」または「レイヤリング」の概念は、除外されます。その代わりに、オペレータはミックスまたは音楽的に関連した入力チャンネル同士のグループを作ろうと考えます。そして、それはミキシング毎に違ったグループを作られます。これはコンソールの端のチャンネルや望ましくない配列（例えば：連続で並んでいる入力配列の途中）になってしまう「レイヤー」または「ページ」より目的のチャンネルを見つけるのに便利でしょう。PRO2には、3種類のグループがあります。VCA (Variable Control Associations)、MCA (Mix Control Associations) と POPulation グループです。これらのグループは色分けと高い可視性ラベル表示により特定でき、さらにフルカラー TFT スクリーン（直射日光時可視）で確認が出来ます。VCA または POP グループを選ぶことでコントロール・サーフェス上の指定されたエリアにそのグルーピングされたチャンネル全てを表示します。通常それは VCA エリア以外に示されます。もしその VCA 又は POP グループに入力のフェーダ数より多くのチャンネルがあるならば、入力フェーダをスクロールするか、EXTEND ボタンを押すことにより、入力チャンネルと VCA フェーダ・エリアに表示します。この機能によりグループのチャンネルをより多く表示することが出来ます。

アドバンスド・ナビゲーション・モード

PRO2 は、3つのチャンネル・ナビゲーション方法を持っています。これらのオプションは、今まで無い最もダイナミックなユーザ・インターフェイスを Midas PRO2 に備え、エンジニアにとって可能な限り簡単に効率的にミックスが出来るように作られています。アドバンスド・ナビゲーション・モードは、光る4つのナビゲーション・ボタンを使ってアクセス出来ます。

FLIP ボタンを有効にした時、出力を選ぶことによって、選ばれた出力への入力チャンネルの Send レベルに入力フェーダが変わります。

GEQ NAVIGATION ボタンを有効にした時、GEQ を割り当てた出力を選択する事で、VCA フェーダ上に GEQ を示します。VCA フェーダを左右にスクロールすることで、全 31 の GEQ フェーダにアクセスすることが出来ます。また FADER FLIP も有効であるならば、入力チャンネル・フェーダは選ばれたミックスに対する Send を表します。もし HIDE UNASSIGNED CHANNELS 機能が選ばれているならば、そのミックスに送っている入力チャンネルのみを示します。

FX NAVIGATION ボタンが有効であるならば、内蔵 FX プロセッサにパッチされた出力を選ぶことでスクリーンにはその FX プロセッサが表示され、アサインナブル・コントロールでその操作が出来ます。もし FADER FLIP も有効であるならば、入力チャンネル・フェーダは FX プロセッサに対する Send を表示します。HIDE UNASSIGNED CHANNELS 機能が選ばれているならば、その FX プロセッサに送っている入力チャンネルのフェーダのみが、示されます。

MCA ボタンが有効であるならば、出力（ミックス）が選ばれるとき、その出力のための MCA フェーダが VCA フェーダ・エリアに配置されます。

MCA グループ (Mix Control Association groups)

は、VCA グループと同様の操作ですが、選ばれたミックスに特定されます。PRO2 がアドバンスド・ナビゲーション・モードで、MCA ナビゲーションが有効であったならば、MCA フェーダは現在選ばれたバスだけの入力チャンネルをコントロールするように働きます。これは他にない強力なミックス・ツールで、PRO2 特有の有用性を持った革新的な機能です。PRO2 には、単純な必要条件だけを有効にしたコンソールとして使用するか、ユーザーが希望する、深く複雑な機能を有効にする事ができる特徴を持っています。

3-D VCA 機能や 200 のリンク機能を持つ VCA グループを有効に使う事で、今までとは違った全く新しい考え方からミキシングをスタートすることが出来ます。

フリップした時、アサインされていないチャンネルを「表示する・しない」(HIDE UNASSIGNED CHANNELS) 機能を実行してください。このモードで FLIP ボタンが有効な時、出力を選ぶことで、入力フェーダは、選ばれた出力への入力チャンネルの Send レベルに変わります。コンソールは、選ばれた出力に割り当てられた入力チャンネルのみを示します。

オートメーション

劇場アプリケーションとして最も重大で必要不可欠な機能の1つにコンソール・オートメーションの能力と柔軟性があります。Midas PRO2 には、これらの必要不可欠さを考慮に入れて、XL8 と同様のオートメーション・ソフトウェアを搭載しました。そしてそれはブロードウェイでも知られています。

PRO2 のオートメーション・システムは、最大で 1000 ものスナップショット・シーンを保存することができ、リコールすることが出来ます。これらはコンソールのオーディオ・パラメータ値の全コントロールならびにネットワーク・ルーティング、FX ラック構成とミキサー自体のフォーマットを含みます。そして、その全ては個別シーンで管理出来ます。ハードウェア・オートメーション "Safe" ボタンは、公演中にオペレータが素早く選ばれたプロセッシング・エリアをリコール機能から切り離す事が出来ます。これに加え、シーンのストアとリコールは、「スコープ (制限)」する事ができ、オペレータが保存するか、それをリコールしたいかを選んだエリアだけに反映するようにでき、その設定をシーン毎に保存することが出来ます。(現在の設定状態は、そのまま残り、スコープ機能だけがシーンに追加されます。)

チャンネルの設置は、SHOW EDITOR 画面より、リコールすることなく編集する(全てのシーンに渡って)ことが出来ます。そして、シーンは、簡単に素早く書き出すことなく、並び換え、インサートや削除が出来ます。



assignable controls

BV 1

KEY 2L

KEY 2R

KEY 3L

KEY 3R

KEY 4L

KEY 4R

channel

channel

channel

console overview

HOME

ALT

SOLO

SOLO

SOLO

MUTE

MUTE

MUTE

MUTE

MUTE

MUTE

MUTE

MUTE

SOLO

SOLO

SOLO

SOLO

SOLO

SOLO

SOLO

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll

scroll



アサインブル・コントロール

スクリーンとフェーダ・バンクの間に、8つの割り当て可能なエンコーダとボタンがあります。これらのコントロールは上下矢印キーを使ってスクロールでき、コンソールのそのエリアに表示されたチャンネル上のすべての基本的なロータリー・ノブおよびスイッチ機能に対し操作することが出来ます。アサインブル・コントロールは、それらの機能によってカラー表示をします。ALT ボタンは、エリア内の他の機能を選ぶ事ができ、アサインブル・ロータリー・エンコーダが入力ゲイン、コンプレッサやゲートのスレッシュホールド又は Aux のレベルとパンとして使用する事ができます。

エリア -B

既にダイナミックで柔軟なユーザ・インターフェイスを更に強化するために、PRO2 にはエリア -B が有ります。デフォルトで、これらはマスター L、R、Mono フェーダです。しかし、これらのフェーダは余り使用されないのので、VCA または POPulation グループを通常の入力フェーダ・エリアに変わって、ここに展開させることができます。これは、オペレータが瞬時にアクセス出来るように Surface のこのエリア上に優先度の高いチャンネルを「確保」しておく事が出来ます。

ディスプレイ・スクリーン

高解像度スクリーンは、直射日光下でも見る事が出来ます。他のどんなコンソールでも困難か、明るい周囲の照明で操作するのが不可能となっていました。PRO2 のスクリーンは非常に優れています。全システムのための情報は、スクリーンで提供されます。HOME キー（アサインブル・コントロールの左側）を押すことでコンソールのオーバービュー・スクリーンを瞬時に示します。それは不可欠な全ての情報（すべてのメーター、すべてフェーダ位置「ミュートとソロ」）を見る事が出来ます。

ディテールパネル・エリア

ディテールパネルは、チャンネル・ストリップで垂直に正しい位置に配置され、PRO3、6 や 9 と殆ど同一のレイアウトになっています。コントロールは論理的、信号経路の順番で構成され、それらは相対的な位置によって簡単に確認する事が出来ます。アナログユーザーでも、コンソールのナビゲーションのために大きなマルチ・カラー LCD チャンネル・セレクトボタンを使う事で分かり易く探す事が出来ます。

入力ゲイン

PRO2 は、2つの入力ゲインを各チャンネルに持っています。1つ目は素晴らしい Midas マイク・アンプのためのリモート・アナログ・ゲインで、2つ目はデジタル・ゲインです。Midas の「暖かい」アナログ・ゲインを望ましい値に設定してください。そして、好ましいゲイン構造のためにトリムとしてデジタル・ゲインを使ってください。

イコライザー

Midas デジタル EQ 機能を有効にしたならば、世界で最も好まれたアナログコンソールを使用した時に経験したオリジナルのフェイズ・シフトを再形成します。各チャンネルには、ハイ/ローフィルタの両方に選択可能な4つの異なるフィルタ・タイプを持った、4-バンド・パラメトリック EQ を持っています。歴代の Midas コンソールの音をシミュレーションした EQ フィルタを使用するか、アナログ回路の限界から解放されて、先進のデジタル

フィルタ・タイプを選択するか、これらの強力な EQ オプションをユーザーに提供します。

ダイナミクス・プロセッサ

PRO2 の入力チャンネル上のダイナミクス・プロセッサは、Midas XL8 と同様です。各入力チャンネルは、選択可能な4つの異なるコンプレッサ・アルゴリズムと周波数反応を考慮したゲートが有ります。これらのコンプレッサのオプションには、可変可能なニー、内部/外部のサイドチェーン・フィルタやキャラクター表現によるオプションを特徴とし、さらに創造的な表現が利用できます。出力（バス）コンプレッサは、選択可能な5つの異なるオプションが提供されます。異なるスタイルをサポートするために変えられたスクリーン画像表示では、これらのコンプレッサ・アルゴリズムが創造的に最大の可能性をエンジニアにオプションとして与え、幅広い環境を提供します。更なるダイナミクス・プロセッサのオプションは、PRO2 の FX ラックに納められたマルチバンド・コンプレッサとダイナミクス EQ で利用する事が出来ます。

FX

PRO2 の 40 ビットの浮動小数点音声処理は複数の仮想 FX ユニットに幅広い選択肢を与える事が出来ます。そして、デュアル・モノ・ディレイ・ユニット、ステレオモジュレーション、多様なリバーブ FX、マルチバンド・コンプレッサ、ダイナミクス EQ、多チャンネル・デュアル機能ダイナミクス・プロセッサから構成されます。Midas オートマッチク・レーテンシ補償システムの範囲内で機能するため、すべての FX プロセッサはカスタムデザインされています。

FX ユニットがチャンネルにインサートされたり、またはセンド・リターンを使うかどうかに関わらず、これは位相コヒレントのサンプルが正確なのでミックスを正しく行います。ディレイ FX は、PRO2 の GLOBAL TAP-TEMPO ハードウェア・ボタンに同期するよう個々に設定することができ、これは、ディレイタイムのテンポを瞬時に変化させる事が出来ます。より多くの FX オプションは、将来のファームウェア・リリースのために開発中です。

サラウンド・サウンド

通常のステレオと SIS オペレーションに加えて、PRO2 には3つのサラウンド・サウンド・モードの内1つで動作させる事が出来ます：

- クオード - 4チャンネル：L-R フロントとL-R リア
- LCRS - 4チャンネル：L-C-R プラスシングルリア・チャンネル
- 5.1 - 6チャンネル：L-C-R + L-R リア・サブ3つサラウンド・モードすべてに、サラウンド・パンニングの深さを修正する機能として、分岐コントロールを持ちます。この強力なサラウンド・パンニングは、PRO2 のトラックボールまたは USB ポインティング・デバイスを用いて操作することができます。

リモート・コントロール

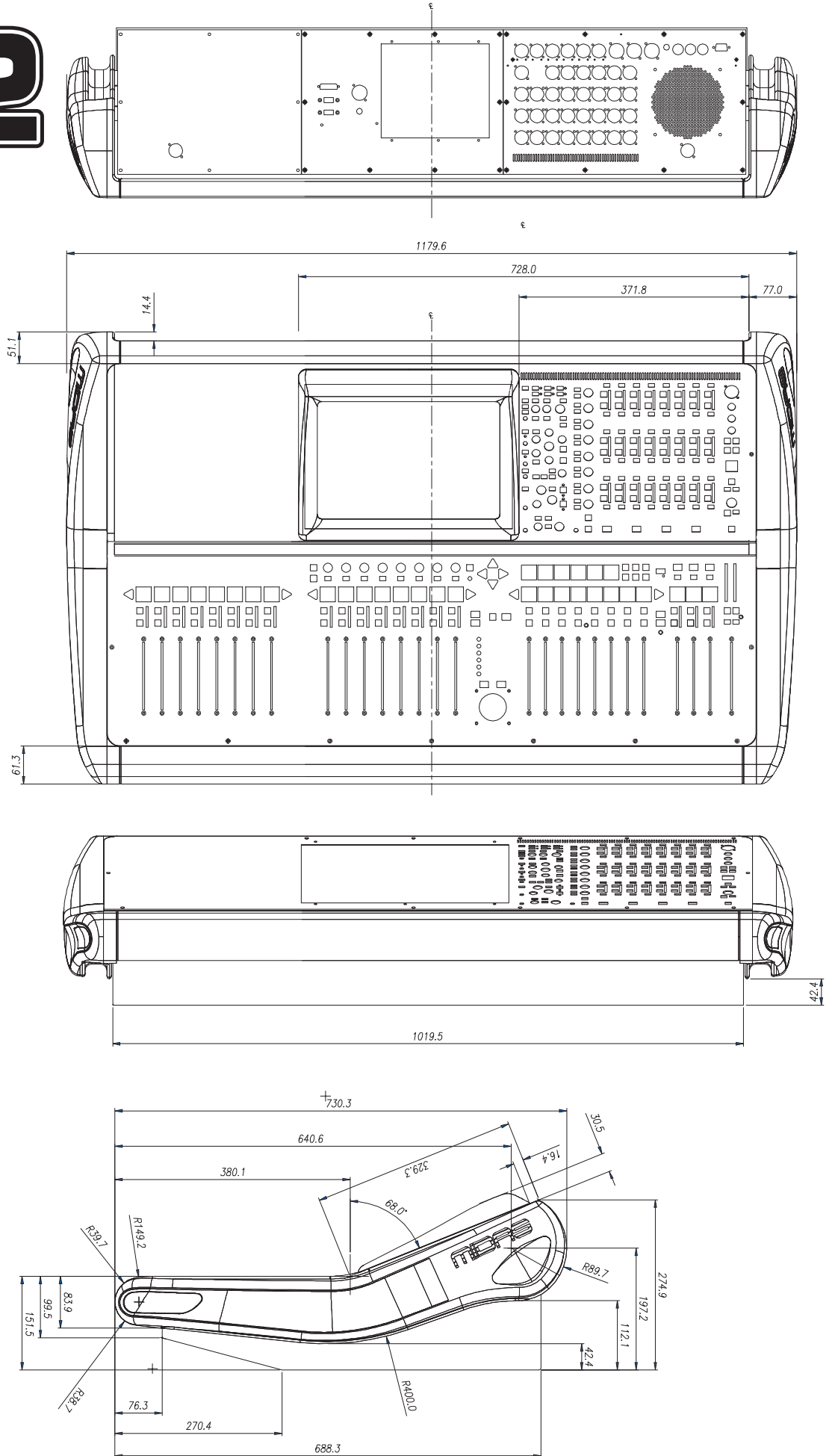
PRO2 のリモート・コントロールは、iPad とワイヤレス・アクセス・ポイントを使って実現することが出来ます。ワイヤレス・リンクを構成して、PRO2 リモート・アプリケーションを iPad 上にインストールして、WAP を PRO2 のイーサネット・コントロール・ポートに接続してください。

PRO2

LIVE AUDIO SYSTEM

Dimension Overview

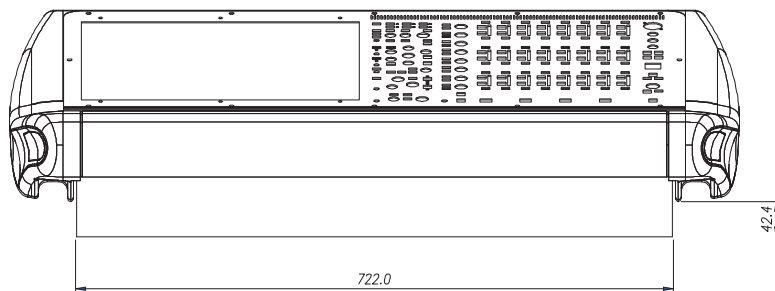
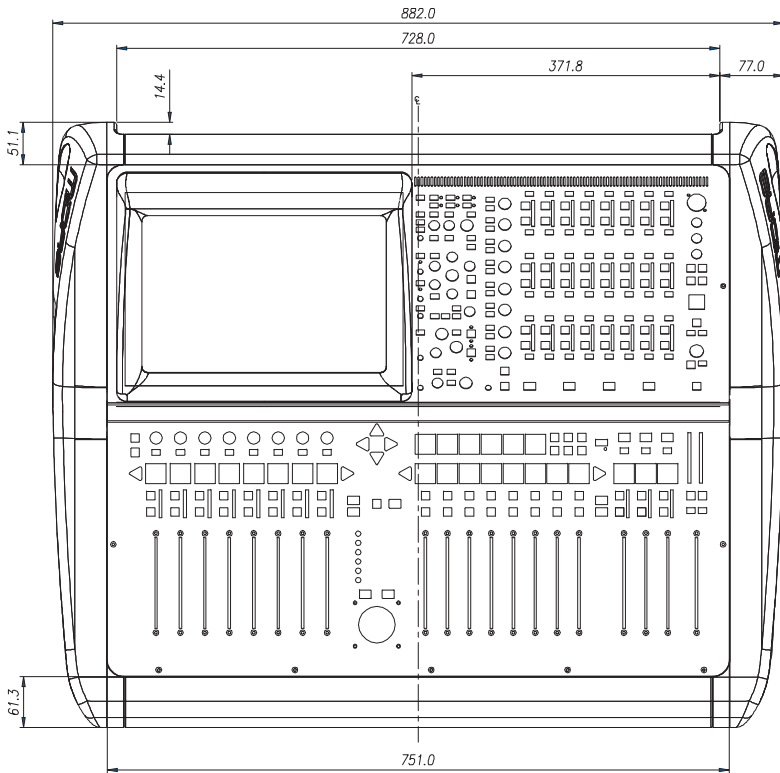
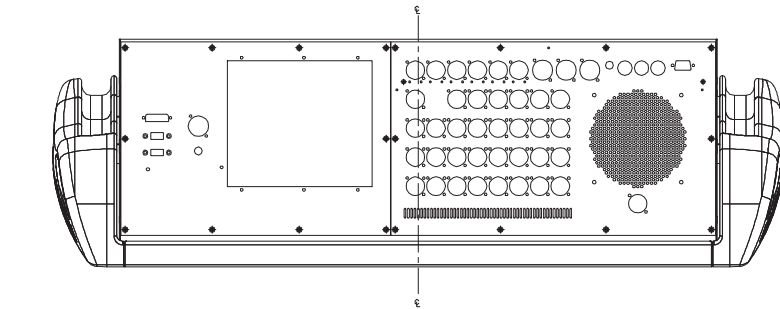
PRO2:
 Width 1179.6mm
 Depth 730.3mm
 Height 247.9mm
 Weight 46kg



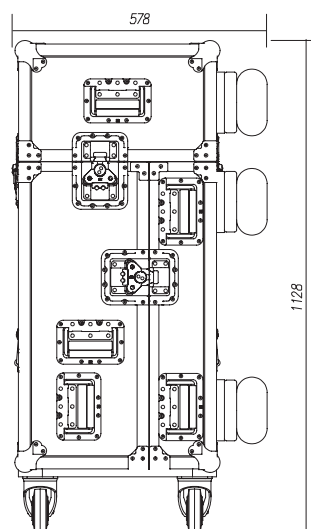
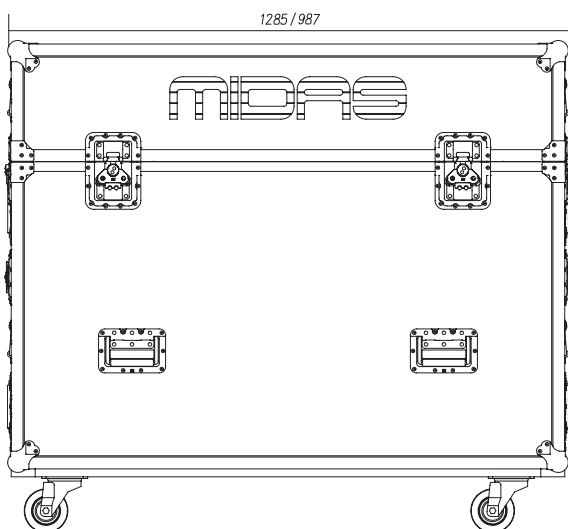
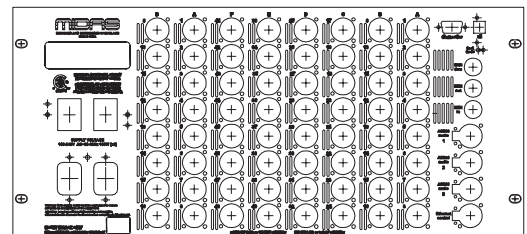
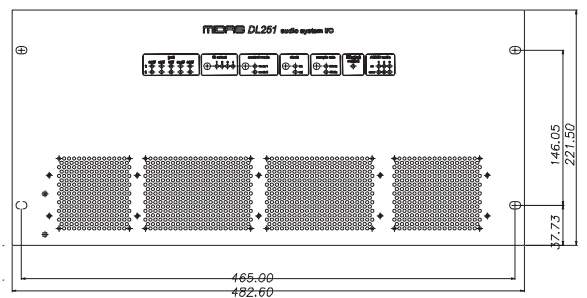


Dimension Overview

PRO2C:
 Width 882mm
 Depth 730.3mm
 Height 247.9mm
 Weight 37kg



DL251



Please note: all measurements are in millimetres. Flight case and DL251 not to scale.

**設計者とエンジニアの仕様書
PRO2 及び PRO2C は下記の
スタンダードパッケージから成ります：**

27- バス・コンソール (プラス 4 ソロ)
64- 入力 (又は 56 入力と 8-AUX リターン)
56-XLR マイク / ライン入力
24-XLR ライン出力
2-AES/EBU 入力
2-AES/EBU 出力
1- コンソール・フライトケース (TP パー
ジョンのみ)
4- 相互接続 (N=1) ラック、Cat5-E ケー
ブル

システムは、強いスチール製、19 イン
チマウント可能、拡張性に優れた音声
信号ネットワークに信号処理とミキシング
能力を提供するために、N+1 または
二重化ケーブルを経由して相互接続す
ることができるモジュラーユニットから構
成されます。コントロール・センター・
サーフェスは、強いスチール製シャーシ
に収められた複数のモジュールから成
り、離れた他の機器からデュアル・リ
ダンドのマルチチャンネル・デジタル
・ファイバ又はクツパのスネークにより
接続することが出来ます。

全体システムは、耐障害性を考慮し、
1 つの相互接続ケーブル障害でシステム
の最大の能力が低下しないように操作
が出来るようになっていました。すべての
外部接続、内部処理やシステムコント
ロールには、障害の起こしたモジュール
のみが影響を及ぼすようモジュール式
になっており、どこか 1 つのモジュール
電源が失われてもシステムが通常動作
するように設計されています。すべての
システム・モジュールと相互接続の動
作状態は、サーフェスに連続的にモニ
ターされて、報告されます。

システムは、必要に応じて簡単に全て
の IO をプロセッシングするコントロール・
サーフェスに 2 つのデジタル・オーディ
オ・ケーブル (追加によりリダンド
が可能) で相互接続することができ、
いつでも有効にする事が出来ます。

システムは、例えば全ての入力をサウ
ンドチェック時にはハードディスク・レ
コーダからの信号とし、公演時には通
常入力マイクに切替えるなど、複数の
場所から供給される入力や出力に供給
する能力と拡張性を持っています。

すべての出力と主要な入力チャンネル
上にイコライザとダイナミクス・プロセッ
シングが有り、システムは 24 バス出力
チャンネルへ同時に 56 チャンネルと 8
チャンネルの AUX 入力をミックスする事
が出来ます。更に外部インサートをど
のチャンネルにも加えることができ、ま
たどのチャンネル経路でも、必要に応じ
てインサートが出来る 6 台のエフェクタ
・プロセッサがあります。

主要な入力チャンネル機能：

選択可能な入力チャンネルハイパス
10Hz - 400Hz swept slope
12dB/Oct 又は 24dB/Oct
選択可能な入力チャンネル・ローパス
2kHz - 20kHz swept slope
6dB/Oct 又は 12dB/Oct
入力チャンネル・トレブル
パラメトリック操作
周波数 1kHz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct - 3 Oct
シェルビング操作
周波数 1kHz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
Soft, Classic 又は Bright (minimum
harmonic disruption) カーブ
入力チャンネル・ハイ / ミッド
パラメトリック操作
周波数 320Hz - 8kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct - 3 Oct
入力チャンネル・ロー / ミッド
パラメトリック操作
周波数 80Hz - 2kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct to 3 Oct
入力チャンネル・ベース
パラメトリック操作
周波数 16Hz - 400Hz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct to 3 Oct
シェルビング操作
周波数 16Hz - 400Hz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
Warm, Classic 又は Deep (minimum
harmonic disruption) カーブ
入力チャンネル・コンプレッサ
Peak, Linear, RMS, Vintage モード
スレッシュホールド -50dBu - +20dBu
アタック 200uS - 20mS
リリース 50mS - 3 Sec
レシオ 25:1 - 1:1
ニー 4dB, 12dB 又は 40dB
ゲイン 0dB - +24dB
選択可能なサイドチェーン・ソースと
フィルタ
周波数 50Hz - 15kHz swept
BW 1/3, 1 又は 2 Oct
入力チャンネル・ゲート
Peak モード
スレッシュホールド -50dBu - +20dBu
アタック 10uS - 20mS
ホールド 5mS - 2 Sec
リリース 2mS - 2 Sec
レンジ 100dB - 0dB
選択可能なサイドチェーン・ソースと
フィルタ
周波数 50Hz - 15kHz swept
BW 1/3, 1 又は 2 Oct

AUX リターン・チャンネル機能：

AUX リターン・トラブル
パラメトリック操作
周波数 1kHz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct - 3 Oct
シェルビング操作
周波数 1kHz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
Soft, Classic 又は Bright (minimum
harmonic disruption) カーブ
AUX リターン・ハイ / ミッド
パラメトリック操作
周波数 320Hz - 8kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct - 3 Oct
AUX リターン・ロー / ミッド
パラメトリック操作
周波数 80Hz - 2kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct - 3 Oct
AUX リターン・ベース
パラメトリック操作
周波数 16Hz - 400Hz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
Warm, Classic 又は Deep (minimum
harmonic disruption) カーブ
出力チャンネル機能：
出力チャンネル Band 6
パラメトリック操作
周波数 16Hz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct - 3 Oct
ローパス操作
周波数 16Hz - 25kHz swept
スロープ 6dB/Oct 又は 12dB/Oct
シェルビング操作
周波数 16Hz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
モード soft curve
出力チャンネル bands 3,4,5
パラメトリック操作
周波数 16Hz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct - 3 Oct
出力チャンネル Band 2
パラメトリック操作
周波数 16Hz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct - 3 Oct
ハイパス操作
周波数 16Hz - 25kHz swept
スロープ 24dB/Oct
出力チャンネル Band 1
パラメトリック操作
周波数 16Hz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
BW 0.1 Oct - 3 Oct

ハイパス操作
周波数 16Hz - 25kHz swept
スロープ 6dB/Oct 又は 12dB/Oct
シェルビング操作
周波数 16Hz - 25kHz swept
ゲイン +16dB - - 16dB
モード soft curve
出力チャンネル GEQ
PEQ の場所に最大 28 台利用可能な 31
Band、1/3 Oct、プロポーションナル Q
ローパス周波数 2kHz - 20kHz
swept
スロープ 6dB/Oct 又は 12dB/Oct
ハイパス周波数 20Hz - 500Hz swept
スロープ 6dB/Oct 又は 12dB/Oct
出力チャンネル・ダイナミクス
Peak, Linear, RMS, Vintage と Shimmer
モード
スレッシュホールド -50dBu - +20dBu
アタック 200uS - 20mS
リリース 50mS - 3 Sec
レシオ 25:1 - 1:1
ニー 4dB, 12dB 又は 40dB
ゲイン 0dB - +24dB
選択可能なサイドチェーン・ソースと
フィルタ
周波数 50Hz - 15kHz swept
BW 1/3, 1 又は 2 Oct

エフェクト・チャンネル機能：
利用できるマルチチャンネル・エフェ
クタは 6 つ構成可能です。
調整可能なディレイ・エフェクタ
複雑なディレイ、リバーブ
先進のダイナミクス

主要な入出力ユニット
主要な入出力ユニットは、二重化接続
とユニバーサル電源を持った 5U ラック
ユニットで、48 チャンネル双方向イン
ターフェイスの信号と外部のアナログ機
器を 3-pin XLR で接続を可能にします：
N+1 双方向デジタル AES50 プロトコル・
システム接続は、RJ-45 イーサネット・
コネクタを用いて可能になります。

